

---

# 飛べない鳥

tagami.

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

飛べない鳥

### 【著者名】

N7212F

### 【作者名】

tagami.

### 【あらすじ】

飛べない鳥が空を飛ぶという夢を持ち旅をする話。その途中で様々な鳥達と出逢い考え方成長していきます。

## プロローグ

池の畔の草原に小鳥達の小さな集落がありました。

その小鳥達は空は飛べませんが素早く動ける小さな身体と丈夫な足を持つています。

そんな小鳥達の中に飛びたい鳥がありました。

けれど彼の翼は小さくて、とても空を飛べません。

いくら翼を羽ばたかせても体はちっとも浮き上がりません。

だから彼はいつも空飛ぶ鳥を見上げ思っていました。

いいなあ。

僕もあんな風に空を自由に飛べたらなあ。

そんな鳥のことを集落の仲間達は馬鹿にします。

「空を飛びたいなんて変な奴。」

「頭がちょっとおかしいんじゃないの。」

彼はすっかり集落の笑い者です。

そして、その彼の家族も肩身の狭い想いをしていました。

家族は何度も何度も彼を諫めようと語りかけましたが、彼は全く聞き入れません。

「いい加減空ばかり眺めてないで、現実を見なよ。」

「そんな暇があつたら妹達の世話でもしてちょうだい。」

「夢を語る暇があつたら、今日の晩御飯でも取つてきなさい。私達は飛べないんだ。」

「そんなことない。きっと飛べる。僕は絶対に諦めない。」

もう何度目かも分からぬ問答に家族は溜め息をつき、呆れ返つて

去っていきます。

けれど、彼の父親には不安に思つことがあります。集落の中では飛びたいなどと考へる彼は異質の存在であり、小さな社会では異分子は排除されてしまいます。

今はまだそれが笑い者にされるという軽い形で済んでいるから良い。しかし、これから先何か起つたら……。

そつ思つと不安で堪らないのです。

そして、その不安はとうとう現実となつてしまつのです。

ポカポカ陽気のある日のこと。

その日も飛びたい鳥は空を見上げていました。

誰も僕の気持ちは分かつてくれない。

皆はどうしてあの空を飛びたいとは思わないんだろう。僕は地面を駆けるだけの一生なんてイヤだ。

そんなとき、彼は青空に今まで見たこともない白い美しい鳥が飛んでいるのを見つけました。

飛びたい鳥はその美しさに眼を奪われて白い鳥を追いかけ駆け出します。

「待つて！待つてよ！君は何処へ飛んでいくの？」

「君が見れない世界の果てを越え、どこまでも。」

白い鳥は飛べない鳥の声に唄つよう心え飛んでいきました。

それからとこりもの、飛べない鳥はそれまでは形だけでもこなして  
いた仕事を放り出し益々空ばかり見上げるようになりました。  
集落の仲間はそんな彼を見ていよいよおかしくなったのだと噂しま  
す。

中には集落から彼を追い出そうと叫う声もありました。

また、頭のおかしいやつの家族も同じく頭がおかしいのではないか  
といつ噂がたつしまつ。

妹達は学校で周りから苛められます。

兄や父は餌の収穫に参加させてもらえず、自分たちで餌を取らなければいけないため、家族の食糧はどんどん減つていきました。

このままでは家族が生きていけない。

そう思つた父は飛びたい鳥を呼び出しました。

「お前のためで家族皆が迷惑をしている。  
それはお前だつて気付いているだらう。

このままでは皆ここを追い出されてしまう。

いい加減くだらない夢は諦めて現実を見る。」

「くだらないなんて言わないでよ。

僕はこんな小さな場所で一生を終えるなんて嫌だ。

世界はとても広いのに・・・僕達はその殆どを知らないじゃないか

！」

「私達はここから離れては生きてはいけない。  
ここから離れたつてのたれ死ぬのがおちだ。

何故お前は現実に満足できないんだ？

皆そうして生きているのだらうー！」

「

「何がいけないの！？」

こんなちっぽけな世界で満足できるわけないじゃないか！

大きな空に憧れて何が悪いんだよ！

父さんには何を言つたって無駄だ！」

「…………。」

「…………。」

「…………。」

「なら、ここを出でていけ。

お前の言う大きい世界を見てくればいい。

ただし、もう一度と戻つてくるな。

お前は今日から家族でも何でもない。」

「 ッ！

分かったよ…………。出でていけばいいんだろ！

出でていけば！

今すぐにでも出でいくぞ！

そう言つて飛びたい鳥は家を飛び出しました。

母はそれを止めようとしてますが、父はそんな彼女を止めます。

彼は飛びたい鳥はどうせすぐに帰つてくると思つていたのです。

外に出れば嫌でも現実が見えて夢なんてものは捨てると。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7212f/>

---

飛べない鳥

2011年10月4日07時34分発行